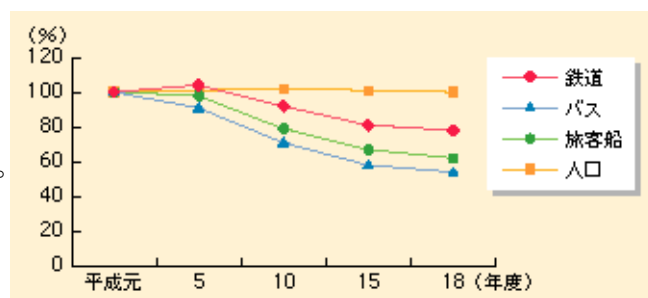


## 🔍 講座の目的

公共交通の利用者は年々減少しており、交通事業者は厳しい経営状況に置かれています。生活の足として使う「公共交通」をどう維持するかが、課題になっています。

私たちが住む、横浜・戸塚地区においてどのような課題があるのか、数年間にわたり調査しています。



## ○ 令和元年度：「戸塚の公共交通が危ない！」

公共交通の過去・現在、そして未来を考えるため、身近な「戸塚駅」で交通調査を実施しました。戸塚駅を発着する路線の本数を図化したうえで、戸塚駅西口着のバスにおける遅延時間をグラフ化。雨の日は40～90分ほどの遅延が発生していることを、現地調査から見つけました。



▲路線図を作成する



▲西口発着のバス本数を計算



▲朝、駅前で乗客数の調査

## ○ 令和2年度：「令和時代の公共交通を考える」

新型コロナウイルス感染症が猛威を振り、公共交通の利用者は2割程度減少したといわれます。利用者数減少、コロナ禍—このような現実には実際の交通事業者はどうか対応しているのか、横浜市交通局に直接聞き取りを行ったうえで、これからの交通についてあり方を考えました。



▲ 交通局での聞き取り調査



▲接続バスの見学・乗車



▲今後の在り方を考える受講生

## ○ 令和3年度：「横浜市営地下鉄 大解剖！」

横浜市営地下鉄が開業してから50年を迎えるにあたり、横浜市営地下鉄上永谷車庫を見学する予定で進めました。

**※新型コロナウイルス感染症の感染拡大で中止**



乗って残そう 公共交通

～乗って生まれる心のゆとり～